

PICK UP

※市政ピックアップ



庄内文化賞と阿部次郎文化賞の受賞者が決まりました

●お問い合わせ／市文化スポーツ振興課芸術文化係 ☎26-5778

●第35回庄内文化賞

庄内地方に居住し、学術・美術・音楽・演劇・舞踊などの活動において、優れた成果をあげた個人または団体などを表彰するものです。



塚本 敏 氏
84歳／亀ヶ崎

昭和38年に短歌に触れる機会を得て以来、意欲的な創作活動を続けてこられました。その傍ら、平成16年から酒田短歌会の代表になられ後進を指導するとともに、多くの短歌コンクールの選者を務め、短歌の普及活動に尽力されました。さらに、小中学生を対象とした短歌募集事業に平成9年の事業創設当時から携わり、青少年に対する短歌文化の振興にも努力されています。

●第30回阿部次郎文化賞

本市出身の哲学者 阿部次郎に関する研究、哲学、美学などの研究に実績が顕著な個人または団体などを表彰するものです。



長岡 龍作 氏
53歳／宮城県仙台市

仏教彫刻史を多年にわたり研究してこられました。従来の仏教彫刻史が様式史主流であったのに対して、その仏像がなぜ作られそこに置かれることになったのか、また当時の人々の願いや考えの中からその仏像が果たした役割を考察するなど、新たな視点で多くの論文の発表や書籍を発刊しています。このような研究は、仏教彫刻史分野のみならず東洋日本美術史分野を代表するものとして高く評価されており、その実績は東北大学の美学・美術史研究の基礎をつくった阿部次郎の名を冠した賞にふさわしく、顕著なものがあります。

平成24年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率について

●お問い合わせ／市財政課財政係 ☎26-5780

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成24年度決算における4つの「健全化判断比率」と公営企業会計ごとの「資金不足比率」を次の通り算出しましたのでお知らせします。「実質赤字比率」および「連結実質赤字比率」は黒字決算のた

め赤字はありません。「実質公債費比率」と「将来負担比率」は平成23年度も良好でしたが、平成24年度ではさらに改善しています。公営企業会計ごとの「資金不足比率」は、資金不足がなく良好な経営状況となっています。

●健全化判断比率の状況

(単位：%)

健全化判断比率	平成22年度	平成23年度	平成24年度	早期健全化基準※1	財政再生基準 ※2
実質赤字比率 ※3		赤字なし		11.80	20.00
連結実質赤字比率 ※4				16.80	30.00
実質公債費比率 ※5	11.9	11.0	10.3	25.0	35.0
将来負担比率 ※6	63.3	56.6	50.0	350.0	—

●資金不足比率の状況

(単位：%)

会計名	資金不足比率※7	経営健全化基準 ※8
水道事業会計	資金不足なし	20.0
病院事業会計		
定期航路事業特別会計		
公共下水道事業特別会計		
農業集落排水事業特別会計		
合併処理浄化槽事業特別会計		

●用語解説

※1 早期健全化基準／この基準を超えると財政健全化計画の策定や外部監査が義務付けとなり、国から勧告を受ける場合がある。
 ※2 財政再生基準／この基準を超えると財政再生計画の策定や外部監査が義務付けとなり、国から勧告を受ける場合がある。
 ※3 実質赤字比率／一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すもの。
 ※4 連結実質赤字比率／全ての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体全体としての赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すもの。
 ※5 実質公債費比率／借入金(地方債)の返済額およびこれに準じる額の標準財政規模等に占める大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すもの。
 ※6 将来負担比率／一般会計等の借入金(地方債)や将来支払って

いく可能性のある負担などの現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すもの。
 ※7 資金不足比率／公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すもの。
 ※8 経営健全化基準／この基準を超えると法に基づき財政再建を行わなければ建設地方債を発行できない。

◆詳しくは、市財政課財政係へ問い合わせるか市ホームページを参照してください。